

かんきょうがくしゅうじゅく

# 環境楽習塾を開催しました

令和4年度の第2回目の環境楽習塾を開催しました。

8月7日(日)は『里山と触れ合おう②』をテーマに、我田の森に生息する植物の観察や、夏の時期に活動する昆虫や水中の生き物などの観察と虫捕り体験しました。

講師は、特定非営利活動法人ぎふ木と森の学校の片岡伸輔理事長です。



講座の初めは、座学で動物の種類について学びました。

動物は大きく「脊椎動物(背骨がある)」と「無脊椎動物(背骨がない)」に分けられますが、脊椎動物は哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類に分けられることを知りました。

座学の後は、外に出て我田の森を散策しながら、昆虫採集しました。

芝生の広場では、よく見ると小さな生き物がたくさん飛んでいました。小さな生き物でも、動きが早くてなかなか捕まえることができませんでしたが、みんなで協力して、バッタ、チョウ、トンボを捕まえることができ喜んでいました。



散策の途中に立ち寄った大岩夢工房では、里山クラブ可児の方に、この時期、このあたりではタマムシが姿を現すというお話を聞きました。

しばらくデッキで待ち構えていたところ、1匹のタマムシが飛んできたため、慎重に近づいて、虫取り網で捕まえることができました。





捕まえた昆虫を図鑑で調べてみました。同じ種類の昆虫でも、模様や大きさの違いでたくさん種類があることを知りました。また、図鑑には昆虫の特徴や活動する時期、生息する地域などが書かれていて、捕まえた生き物と図鑑を一生懸命見比べていました。



昆虫採集の次は、我田の森のビオトープ池で水中の生き物を捕まえてみました。水の中を虫取り網ですくってみると、何匹ものメダカが網にかかっていた。また、池にはザリガニもいて、気づかれないようにそっと網を近づけて捕まえることができました。

水中の生き物も図鑑で調べてみました。ザリガニは触るのは怖いけど、カゴの中に入れて見れば怖くないと、興味深く観察していました。



### 【参加者の声】

- ・親子で参加できて楽しかった。
- ・たま虫をつかまえられてうれしかったです。親子で参加できてうれしかったです。
- ・ザリガニの目が丸く黒くてこわかったです。図かんの使い方がよくわかりました。

可児市役所環境課  
 所在地/〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地  
 ☎0574-62-1111 ✉kankyo@city.kani.lg.jp  
 ※詳細は可児市役所ホームページをご参照ください。  
 🌐 <https://www.city.kani.lg.jp/>

環境楽習塾は、「清流の国ぎふ森林・環境税」を財源とした森林・環境基金事業です。

